

清水かつら記念

第19回 日本歌曲 歌唱コンクール

【主催】 公益財団法人和光市文化振興公社／和光市

【主管】 公益財団法人和光市文化振興公社

【後援】 埼玉県／埼玉県教育委員会／和光市教育委員会

公益財団法人日本オペラ振興会／日本歌曲振興波の会／埼玉県合唱連盟

公益社団法人日本演奏連盟／一般社団法人日本童謡協会

さいたま放送局／埼玉新聞社／和光白子文化の会

ライオンズクラブ国際協会330-C地区／和光ロータリークラブ

昭和音楽大学／武蔵野音楽大学／東邦音楽大学／東京音楽大学／尚美学園大学

洗足学園音楽大学／十文字学園女子大学／跡見学園女子大学／国立音楽大学

玉川大学／東京学芸大学

清水かつら記念 第19回 日本歌曲 歌唱コンクール

募集要項

応募締切日 2022年6月20日(月) 17:00必着

予選審査会 6月28日(火)【非公開】

本選審査会 8月20日(土)【一般公開】

和光市民文化センターへのアクセス

- 和光市駅まで池袋から東武東上線急行準急 13分、新宿三丁目から東京メトロ副都心線急行 22分、各停 29分
 - 和光市駅南口から 870m(徒歩約 13分)
 - 和光市駅南口からバスをご利用の場合、東武バス(西大和団地経由)「和光市役所入口」(3つ目)停留所から約200m
 - 駐車場(有料)には限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
 - 駐車場は市の雨水調整池(※)を兼ねた施設です。激しい降雨時には冠水します。予めご了承のうえご利用ください。
- ※雨水調整池とは、降雨時に河川や水路の増水を抑制し、洪水を防ぐために一時的に水を貯め、時間をかけて放流する施設です。



コンクールに関するお問い合わせ

和光市民文化センター サンアゼリア (公益財団法人和光市文化振興公社)
〒351-0192 埼玉県和光市広沢1-5 TEL 048-468-7771



日本を代表する童謡詩人 清水かつら(本名 桂)は、明治 31 年(1898 年) 7 月 1 日に東京都本所小名木(現在の深川)で生まれました。子どもの頃から文学に深い興味と優れた理解力があり、商業学校を卒業後、出版社に入社、少女雑誌「少女号」の編集に携わりました。「少女号」の編集者は、かつらのほかに「浜千鳥」や「金魚のひるね」を作詞した鹿島鳴秋、後に剣豪作家となる山手樹一郎がいました。ここでは編集者も原稿を書いていたので、かつらは子どもの頃に見た和光市新倉や白子、板橋区成増の田園風景、自分自身の心境などを題材にした童謡を次々に発表し、弘田龍太郎や草川信の作曲を得て、大正から昭和そして平成の時代まで歌い継がれる名作を残しました。

大正 12 年(1923 年)の関東大震災で家屋・家財を失ったかつらは、母の実家のある新倉村(現和光市)に身を寄せ、その後、白子村に移り住むことになりました。

昭和 26 年(1951 年)7 月 4 日、病気でこの世を去るまで、この地で武蔵野の自然と子どもの純真さを愛して作詞した数々の童謡は、多くの人々に親しまれています。



清水かつら Shimizu Katsura (1898 ~ 1951)

